

熊谷 崇氏に聞く（その2）（歯界展望 vol.104 no.2 2004-⁸）

■メディカルトリートメントモデルとは具体的に何を指すのでしょうか？

—メディカルトリートメントモデルとは、イエテボリ大学のBo Krasse 名誉教授が紹介した概念です。彼は結核患者を例にして、医師が即座に炎症の起きている部分を切除し、そこに不活性材料を充填するという置換処置を行えば、訴えられてしまふと説明しています。まず患者の訴えを把握し、必要ならば検査を行い、疾患の原因を取り除き、症状を軽減させ、さらに治療結果をモニタリングし、再発予防の所要の処置を講ずるものが、医療の観点で構築されたモデルです。当たり前と言えば当たり前ですよ。

私のオフィスでは、このメディカルトリートメントモデルを歯科医療にあてはめて、問診、口腔内診査、唾液検査、歯周組織検査、X線写真撮影、口腔内写真撮影を行い、必要な応急処置をしたあとに、初期治療でバイオフィルムの破壊と除去を行って原因を取り除きます。それから修復などの歯科処置を行って、再評価をして、メインテナンス予防管理として継続的なバイオフィルムの破壊と除去を行います。その際には口腔内の状態をデータ入力してモニタリングしています。一般医療では王道であるこのモデルを忠実に行うことで、歯科においても疾患のコントロールを最も確実に実行できるのだろうと思っています。してきましたが、また、実際に臨床データで素晴らしい結果が出ているのです。

ヤスアキイズム 2

ひるま矯正歯科副院長 晝間康明

前回のヤスアキイズムでは、大切な三つの思い（「家族を幸せにする事」「患者さんを幸せにする事」「共に働くスタッフを幸せにする事」）についてお伝えしました。今回は「ヤスアキイズム」の中心である「患者さんを幸せにする事」についてお伝えしていきたいと思います。

患者さんを幸せにするとは

ヤスアキイズムで患者さんを幸せにする事とは、ストレスの少ない豊かな生活をサポートする事だと考えます。

歯科医だからできる事、歯科医にしか出来ない事で、二つのストレスを患者さんから減少させたいと考えています。

肉体的なストレスを減少させる

一つ目は、肉体的なストレスを減少させる事です。

肉体的なストレスとは、老化や病気などで肉体が衰える事です。どんなに強靱な肉体を持っていたとしても、食事による栄養の供給がなければ肉体は機能しなくなります。また、食事を摂れなくなる事で認知症や高齢者の寝たきりの発生率が高くなります。その栄養供給の入り口は、私たち歯科医が患者さんに最も貢献することの出来る「口腔」なのです。

良く噛める丈夫な歯と歯を支える顎の骨、バランス良く並んだ歯列が整った口腔内の環境を整え、肉体的なストレスを減少させる事が、私たち歯科医ができる患者さんを幸せにする事です。

スタッフ・リレーエッセイ



ひるま矯正歯科
受付担当
清水美登里

もう季節は春ですね。最近毎日乗る電車から咲いている桜が見え始めました。もう春だなあと嬉しくなりますが、花粉症の私にはとてもとてもツライ季節です。

この冬は暖かったので、寒がりの私にとっては良かったんですが心残りがひとつ。それはスノーボードに行けなかったことです。「たくさん滑りに行くぞっ!!」と秋頃から気合いを入れ、兄弟とのスノー旅行を計画していたものの、甥っ子が小さいので行けず…。(涙) 来年の冬こそはカッコよく滑れるようになりたいですね。

その甥っ子も2月に1才を迎えました。家には誕生日プレゼントのアンパンマンのお

もちやがたくさん!!中でもお気に入り、アンパンマンが喋ってくれる車のセットらしく、ハンドルを握っていつもニコニコです。

少し前まで私の顔を見てもキョトンとしていました、やっと私の顔を覚えてくれたみたいで今ではニコツと笑ってくれるように！笑うと少し乳歯が見えて、その笑顔だけで癒されてしまいます。ちょっと前に『バイバイ』を覚えて手を振ってくれるようになったのですが、最近外に連れ出すと通りすがりの人にも手を振って喜んでいきます。子供の成長は早いですね。

先日、私の部屋で遊ばせていたところ、見事に散らかしてくれました…。よく見ると歯形がたくさん!!これも成長ですね。これから成長が楽しみです。

そして来年の冬こそはスノーボ・温泉旅行を実現し、私の技術も成長したいですね。

精神的なストレスを減少させる

二つ目は、精神的なストレスを減少させる事です。

「口元」は表情に大きな影響を与えます。

口元が美しければその人の表情は自信につながり精神的なストレスは少なくなります。逆に、虫歯や歯周病で歯を失ったり、歯並びが悪い事で表情にコンプレックスを感じていれば、精神的なストレスは増加します。

また、お口の中は砂粒が一粒入っただけでも違和感を感じる程の繊細な器官であるために、「痛み」に対してもとても敏感です。

虫歯や歯周病、顎関節症などは時として強い痛みを發します。そして、これらの疾患は口腔内環境が悪い事で発症する確率が高くなる疾患です。

この様な様々な痛みがいつ発生するかわからない口腔内環境にドキドキしている状態も精神的なストレスが増加します。

「口元と口腔内を美しく」「痛み」の起りうる疾患を予防し、精神的なストレスを減少させる事が患者さんを幸せにする事です。

ヤスアキイズムでは、「肉体的なストレス」と「精神的なストレス」を減少する事で患者さんの豊かな生活をサポートし、患者さんの幸せに貢献したいと思っています。